



- 『林業イノベーション現場実装推進プログラム』を着実に進めるため、「林業イノベーションハブセンター（森ハブ）」をR3に設置。
- R3から、林業イノベーションに係る課題・技術情報の整備、林業イノベーションに必要な支援機能の検討等を実施。
- R5は、林業イノベーションの創出を支援するために、「森ハブ・プラットフォーム」の構築・運営、地域へのコーディネータ派遣に着手。

森ハブ

R3～ 調査・方策検討機能

- 異分野を含む先進技術を調査し、林業課題を8分類35項目に、新技術を86項目に拡充
- 新技術の普及状況・課題等を整理、2025年までのタイムラインを策定
- 林業イノベーションに関する支援ニーズ調査等を踏まえ、必要な支援機能を検討

専門委員会

- 調査結果等を基に意見・提案聴取

アドバイザーコミッティ

機械開発分科会 デジタル分科会 etc.

<令和5年度アドバイザーコミッティ委員>

泉清久（元和歌山県農林水産部森林・林業局長）
 坂井貴行（神戸大学バリュースクール教授）
 柴田君也（株式会社柴田産業代表取締役）
 立花敏（筑波大学生命環境系准教授）
 見山謙一郎（事業構想大学院大学特任教授）
 宮本義昭（株式会社バルステクノロジー代表取締役社長）

活用

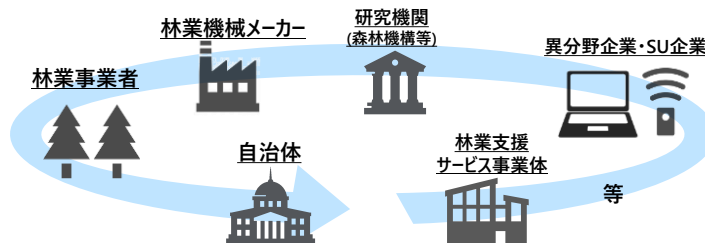
国

- 「林業イノベーション現場実装推進プログラム」をアップデート(令和4年7月)
- 林業機械等の開発支援事業に活用 等

R5～ マッチング・プロジェクト支援機能

森ハブ・プラットフォーム

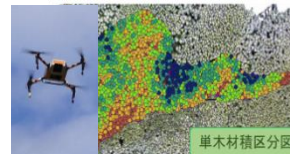
- 様々なプレイヤーが参画するプラットフォームを構築、異分野からも参画を呼び込み。事業者間の情報交換・交流等を実施



- 林業現場が抱える課題・技術ニーズ 異分野企業・SU企業等が有する強み・新技術 } の共有
- 事業者間のマッチング・協業体制の構築
- 新たな林業機械や林業支援サービス等の創出・拡大、現場へ普及・定着



自動走行フォークワ（開発中）



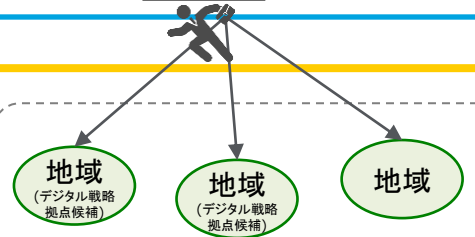
ドローンを活用した資源情報解析サービス

地域へのコーディネータ派遣



- 地域のニーズを踏まえて、コーディネータを派遣、コーディネータの活動を後方支援
- 地域の進展状況を把握・評価する「チェックリスト」を作成し、横展開を推進

コーディネーター



- 各地域の状況を踏まえ、林業のデジタル化やイノベーションの推進を支援

先行事例、
チェックリスト
により横展開

